

キラリ熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

『渋沢栄一翁が関わった企業 百社一首』を制作

『新紙幣の発行に向けて、新商品を開発して、渋沢栄一翁が500以上の企業に関わった功績を表現できないか?』そんな壮大なテーマに取り組み、百人一首ならぬ『百社一首』を商品化したのが、埼玉工業大学本吉研究室の皆さんです。

『百社一首』は、協力を得られた66社のロゴマークをあしらった『取り札』と、栄一翁との関係を表した『読み札』で、遊びながら栄一翁の功績が感じられる商品です。制作は、現存する186社をリストアップし、連絡先を調べ、企画書を1社ずつメールで送ることから始まりました。

制作において最も苦労したという、各企業にメールを送ったときのことを聞くと、「1通目を送信したときは、本当に緊張しました。」「最初



埼玉工業大学 人間社会学部

もとよし
本吉研究室4年生の皆さん

前人未踏の手法で
偉人の功績を商品化



▲『百社一首』を楽しむ本吉研究室の皆さん

▶栄一翁本人の筆文字を使用して題字が書かれている『百社一首』の外箱

の返信で『完成を楽しみにしています。』と言って協力してくださる企業もあって嬉しかったですね。」などと、感慨深そうに話してくれました。「各企業の栄一翁への思いと、新紙幣発行という話題性の相乗効果に、完成を後押しされたと思います。」と、今回、栄一翁への注目度を改めて感じたという皆さん。「利益は『ふっかちゃん子ども福祉基金』へ寄付します。幅広い世代に楽しんでもらいたいし、特に子どもたちには、栄一翁がたくさんの企業に関わっていたと知ってほしいですね。」と、完成した『百社一首』に期待を込めます。

『深谷を盛り上げよう』と取り組んだ学生たちの思いは、しっかりと形になり、賛同した企業の思いとともに地域へ還元されていきます。

『農業』で

深谷を元気に!

深谷市では、『儲かる農業都市ふかや』の実現を目指し、『農業』を核とした産業のブランディングを進めています。問い合わせ/産業ブランド推進室(☎577 - 3819)
産業ブランド推進室 検索

審査のゆくえに注目を!

ディープ バレー アグリテック アワード
DEEP VALLEY Agritech Award2024 開催決定!

深谷市では、深谷市の農業課題を解決する技術(アグリテック)を持つ企業を集め、農業版シリコンバレーとして『DEEP VALLEY』と名付けて、アグリテック集積都市を実現するための取り組みを実施しています。

その取り組みの1つであり、6年目を迎えるアグリテックアワードを、今年度も開催します。提案募集へのエントリーは7月から開始します。

どのような提案がエントリーし、最優秀賞に輝くのか、ぜひ、審査のゆくえにご注目ください。

令和6年12月ごろには、アワードで賞を受賞した企業の表彰式と最終審査まで残った企業の製品展示会の開催を予定しています。どなたでも見学できますので、ぜひお越しください。

詳しくは、『DEEP VALLEY』の公式ホームページ(右記QRコードからアクセス)で随時お知らせしていきます。

▶2023年度
『農業生産部門』
最優秀賞
(株)TOWING



◀2023年度
『フードバリューチェーン部門』最優秀賞
グリーンカーボン
Green Carbon(株)



公式ホームページ
『DEEP VALLEY』



ふっかちゃんの日常から
深谷が見えてくる

ふっか 散歩

131 福澤諭吉旧居・福澤記念館(大分県中津市)

今回は、深谷を飛び出して大分県中津市へ!1万円札の肖像を40年間務めた、福澤諭吉さんの育ったところを見学に来たよ。かやぶき屋根のおうちが見えるねえ。諭吉さんはここで、どんな少年・青年時代を過ごしたのかな。ではさっそく、おじゃましてあ〜す。



▶深谷市役所のポストと同じ、1万円札肖像パトロンタッチのロゴマークが付いているポストを発見!深谷とおそろいでうれしいねえ。



▲うちの中では、諭吉さんが本を読んでいたよ。諭吉さんは35歳のとき、ここで『学問のすずめ』の元になるエッセイを書いたんだって。



▲敷地内の『福澤記念館』は、諭吉さんの生涯や功績についての資料がいっぱい展示されているよ。貴重な、1万円札1号券の展示もあったよ〜!



ふっかちゃんの
つぶやき

いよいよ、7月3日(水)に新1万円札発行Y(0≦ω≦0)Y
暑い夏に負けないくらい、みんなで盛り上げていこうね!!



心の広場

命の大切さ

深谷西小学校4年(現5年)
橋本 莉乃愛さん

わたしは、テレビで、人をころしてしまう人や、せんそうで何百人、何万人の命がうしなわれている事、自さつしてしまう人がいる事をして、どうしてそういう事がおきてしまうのか、なぜころしてしまうのか、わたしはふしぎに思うし、悲しい気持ちになりました。なので、わたしは命の大切さについて考えてみました。

命は、一人に一つしかないもので、一度うしなってしまうと、もうとりもどすことができません。わたしの命は、わたしのものでもあるけれど、わたしをうんでくれた、お母さん、お父さんのものでもあって、もし、わたしがいなくなってしまうと、お母さんもお父さんも、わたしの家ぞくみんなが悲しんで、みんなの生活がかわってしまいます。ニュースで見た、なくなってしまった人、ころしてしまった人にもきくと家ぞくはいて、悲しい思いをしたはずです。

では、どうしたら、そういうあそいがなくなるのか、いじ

めやさつ人も一人一人が相手のたちばになって考えれば、こうされたい、こう言われたらいいな気持ちになるなどわかるので、相手のたちばになってみんなが行動すれば、あそいは、へるのではないかと思います。あたりまえのことだけど、ありがとうのかんしゃと、わるいことをしてしまったらすなおにあやまる、あやまれたら、相手の「ごめんね。」をうけいれる広い心をみんながもてれば、もっとへいわになると思います。命は大切です。一人一つしかありません。命は、うばうものではなく、みんなで守っていくものだと思います。わたしは、自分の命も大切にすし、みんなの命も大切にしていきたいです。

人はみんなちがうから、そのちがいをわたしは、みとめていきたいです。自分とちがうのをやだな、へんだな、と思ってさべつするのではなく、女の人でも男の人でも、はだの色や目の色がちがっていても、話す言葉がちがっていても、自分と考えがちがっていても、相手をそんちょうして、みんなが相手のことをみとめあえればきっとへいわになって、みんなが命を大切にすることができると思います。

